

# 親 業 ・ 子 育 て

親子であっても 「個性」 が違います。

「我が子だから」と決めつけた教育、  
過度の期待を持った教育では  
子供の個性が育ちません。

**共感型の子育て**は、子供の個性を伸ばします。



親業とは → 子どもの考える力をのばす親子関係のつくり方

「親業」とはつまり、子育てのことである。  
それをあえて親業としたのは、  
従来の子育てのなかでは、「子供がいかに育つか」と、  
子供のほうにばかり重点がおかれていたのに対し、  
「子供が育つ上で親がいかに関わるか」という  
親の側に焦点を当てて子育てを見直すところに、  
ひとつの大きな特徴があるからである。

※アメリカの臨床心理学者トマス・ゴードン博士

## 子育ての悩みの本質は？

親にとって子育ての悩みはつきません。

朝から晩まで、お母さんは、言うことを聞かない子供に怒ってばかりいませんか？

一生懸命になればなるほど、子どもの反発を招いて関係が悪くなるり会話が成り立たなくなり、コミュニケーションがうまくとれない。

何を考えているのかわからない・・・と親の悩みが続きます。

何気なく言う、親の言葉が、子供にとって大きく影響している。

# 親業・子育て

親子であっても個性が違います。

「**自分普通**」を知らず、知らずの間に  
子供に押し付けたりしてませんか？

子供の意見を聞く、待つ姿勢を大事しましょう。  
親の会話傾向で、伸び伸びと育てる子育てができるか、  
何気なく言う、親の言葉が、  
子供にとって大きく影響している。

そんな「気づき」と「心を育てる会話の仕方」を  
分かりやすく伝授していきます。

親に必要なことは？

- ・ 忍耐 . . . . . 子供に考えさせる時間を持ち、言葉を出すまで待つ
- ・ 共感型の会話 . . . 受け入れる心を持つ・心を感じる

# 親子のコミュニケーションの問題点があきらかになる

**No.1**

基本的な個性の傾向

- ①考え方が肯定的か否定的か
- ②他人の評価を気にするかわりにしないか
- ③他人との交流を楽しみたいと感じるか、苦痛と感じるか

**No.2**

友人・人間関係の傾向

- ①友だちが多くできるかどうか
- ②自己中心の傾向がないかどうか
- ③自己主張がしつかりできるかどうか
- ④友達に嫌われてもくじけられないかどうか

学習のしかたの傾向

- ①学習の成果が上がるタイプかどうか
- ②学習に集中できるタイプかどうか
- ③本音に強いタイプかどうか
- ④奮めると効果があるタイプかどうか
- ⑤強く叱ってもつづれないタイプかどうか

**No.3**

発達育の不足を考えると

- ①友だちが多くできるかどうか
- ②会話が少なくて心配
- ③積極性がなくて心配
- ④自分で考えようとしてく心配

**No.5**

発達育子どもの関係

- ①関係は安定しているか、緊張感はないか
- ②相互理解は十分か、一方的な押し付けをしていないか
- ③感情交流は十分か、心理的疎外感を与えていないか
- ④自主性を育てているか、依存的に育てていないか

## 子どもの個性 & 親子のギャップ！ 目で見てわかる！親子CQ分析診断

- ☑ もっと自主性を身につけて、自立した人間に育てたい
- ☑ 勉強に集中できず、受験を乗り越えられるか心配だ
- ☑ 誉めたらいいのか、叱ったらいいのかわからない
- ☑ こどもが何を考えているかわからず、ケンカになってしまう
- ☑ こどものコミュニケーション力をUPしたい
- ☑ どんな仕事（進路）が向いているのか知りたい
- ☑ こどもの将来を不安に感じている

**A) 親子の個性を「見える化」で比較します**  
(グラフを重ねて見せることで、似ているところ、ギャップが簡単にわかります)

**No.4**

CQ「CSP」親子対比 親子関係 | 山田 長女(13才)母親(47才)

**A** 親子の個性を「見える化」で比較します

**B** 8つの尺度で親子の個性を「数値化」比較します (気質性・交流性・幸福性・表出性・共感性・専断性・創造性・自立性)

	気質性	交流性	幸福性	表出性	共感性	専断性	創造性	自立性
子	54.0	40.0	16.0	71.0	71.0	30.4	42.4	12.0
親	81.0	21.0	87.0	52.0	70.1	60.0	87.0	83.0

**C** 保護者の不安を項目別にチェックします (項目を5段階で表示・青ラインが子ども、緑ラインが保護者)

1. 保護者の不安を考えると

- ①友だちが多くできるかどうか (気質性)
- ②会話が少なくて心配 (交流性)
- ③積極性がなくて心配 (幸福性)
- ④自分で考えようとしてく心配 (自立性)

①友だちが多くできるかどうか (気質性) 子どもの気質性は54.0、母親は81.0です。母親は子どもよりも気質性が強い傾向があります。

②会話が少なくて心配 (交流性) 子どもの交流性は40.0、母親は21.0です。母親は子どもよりも会話が少なくて心配する傾向があります。

③積極性がなくて心配 (幸福性) 子どもの幸福性は16.0、母親は87.0です。母親は子どもよりも積極性がなくて心配する傾向があります。

④自分で考えようとしてく心配 (自立性) 子どもの自立性は12.0、母親は83.0です。母親は子どもよりも自分で考えようとしてく心配する傾向があります。

親子であっても『考え方』や『コミュニケーションスタイル』が異なることは多々あります。  
子どもの将来【キャリア】を考えるのであれば、先ず最初に親子の違いを客観的に理解することが大切です。



### 【親子CQ分析診断】

一般の心理テストがEQ「行動パターン」を測定しているのに対して、CQ「発想パターン」を測定しているのが特徴です。CQは日本心理学会で発表されている学術的根拠のあるもので、IQ、EQに続く第3の指数と書われています。個別の行動の傾向を把握するのではなく、基本的な発想を測定することから、本人の持つ潜在能力までも読み取ることができます。

診断対象：小学3年生ぐらい～中学生と保護者、保護者用64問、子ども用64問、3択回答

### ～ 代表的な5つの親子コミュニケーションスタイル ～

親子A：母親のエネルギーが大きく、子どもが内向的なパターン(その1)

長女 12才(F) 母親 親子ギャップ

親子B：母親のエネルギーが大きく、子どもが内向的なパターン(その2)

次女 10才(F) 母親 親子ギャップ

親子C：親子の個性がそっくりで、共に自立性が低く互いに依存しているパターン

長女 10才(F) 母親 親子ギャップ

親子D：元気で明朗活発な子どもとおとなしく寡黙な母親のパターン

長女 11才(F) 母親 親子ギャップ

親子E：親子ともにエネルギーが大きく独創的で自立しているパターン

次女 11才(F) 母親 親子ギャップ

# いじめに打ち勝つ強い心を持つ子どもの育て方

## C Q A 会長 和田真雄 講話

序章 自分の子どもがいじめられたらどうしよう  
自分を主張できないでいじめられたらどうしよう  
自分の意見を言うより我慢したほうが楽  
他人の心のわからない子もいじめられる

第一章 いじめに打ち勝つ強い心を育てる  
第二章 黙って子どもの話を聞くことから始めよう  
第三章 子どもの話に肯定的な相づちをうつ  
第四章 他人の気持ちのわかる心を育てる  
第五章 自分の意見を言える子どもに育てる

親の会話傾向で、伸び伸びと育てる子育てができるか、  
何気なく言う、親の言葉が、子供にとって大きく影響している。

そんな「気づき」と「心を育てる会話」を分かりやすく伝授していきます。

親業・子育てについての講話・セミナー詳細については、お問い合わせください。